

タケイ進化コンクリート法防水

標 準 施 工 要 領 書

[地 下 室]

東京都荒川区東日暮里5丁目12番1号

タケイ工業株式会社

TEL : 03 (3891) 8176

FAX : 03 (3891) 8179

メールアドレス : takei@takeibousui.com

使 用 材 料

種 別		使用箇所		メーカー	備 考
タケイ2号液		底盤・接地壁		タケイ工業	コンクリート 混入用
タケイ3号液		同上		タケイ工業	撒布浸透
TR4号		各所		タケイ工業	吸水調整剤
モ ル タ ル	セメント	ポルト ランド セメント	打継処理 Pコン穴処理		現場にて支給
	川砂				
	水				
セメント系補修材		化粧Pコン穴処理			
弾性系エポキシ剤		Pコン穴表面処理 工区分け打ち継ぎ処理		コニシ(株)	

タケイ液について

(一) 特許タケイ液の効用

コンクリート、モルタルの混入用タケイ 2 号液は数種の金属錯塩から構成され、コンクリート混練に際しセメント粒子に働き、水和反応を促進し水和度を高め、セメント硬化体中の空隙を減少させ緻密にするための触媒的機能を有する混和剤であります。

更に特許タケイ 3 号液はケイ酸質の無機質系成分を主成分とした水溶液で打ち込まれたコンクリート（モルタル）中の 2 号液と相乗的な効果を発揮し、セメントの水和反応の結果生ずる水酸化カルシウム $\text{Ca}(\text{OH})_2$ を吸着して不溶性のケイ酸カルシウム $\text{Ca} \cdot \text{SiO}_3 \cdot \text{H}_2\text{O}$ とし、直接外界と接触する基材表層部の水密性を一段と向上し、併せて耐候性、耐酸性、耐摩耗性も具備させるコンクリートの表面処理剤であります。

このタケイ 2、3 号液使用のコンクリートを称して「タケイ進化コンクリート」と呼称しております。

(二) 特許タケイ 2 号液の使用法

タケイ 2 号液の標準使用量はセメント重量に対し、原液を 0.5 % の割合で生コンクリートに添加します。

例) 単位セメント量 : 300 (kg/m³) の場合

$$\text{タケイ 2 号液標準使用量} = 300 \text{ kg} \times 0.005 = 1.5 \text{ (l/m}^3\text{)}$$

(三) 特許タケイ 3 号液の使用法

タケイ 3 号液はコンクリートの打設後またはモルタル施工後、対物が湿潤し十分濡れ状態になるまで撒布浸透処理を施し、2 号液混入コンクリートとの相乗効果をもたらす重要な養生液あります。

タケイ 2 号液の混入

(現場混入)



現場到着の生コンミキサー車へのタケイ 2 号液の混入は計量投入機又は、計量カップを使用し、1 車当り正確に混入する。コンクリートとの攪拌が十分に行われるように次の点に注意する。

- (一) タケイ 2 号液を単位セメント量の 0.5 % 混入する。
- (二) ミキサー車の回転を高速で 1 分間以上行う。
- (三) ミキサー車への積載量は規定量以下でお願いします。
(5.0m³ 車の場合、5.0m³ 以下)

タケイ 3号液浸透処理方法



特許タケイ3号液撒布浸透処理

塗布方法は噴霧器を使用し、施工面に満遍なく撒布する。

躯体への浸透状況を確認しながら行う。(噴霧器の補助機材として ローラー、刷毛 等を使用する。)

塗布量は $0.3\sim 0.4 \text{ l/m}^2$ を基準とし、吸い込みの状況により増量する。

床 面 仕 様

(底 盤)

- ・ 基準高さの基点を正確に設ける。 (天端ポイント使用)
- ・ 計画高さを見計らいながら荒均しを行う。
- ・ 木ゴテ、トンボ等を使用し凹凸を均し、中均しを行う。
- ・ 定規摺 (高さの基準にならい、高さを正確に保ちながら定規を用いて平に均す。)
- ・ コンクリートの硬化待
- ・ コンクリートの締め具合を見計らって1回目の金ゴテ押えを行う。
- ・ 更に表層の締め具合を見計らって2回目の金ゴテ押え (部分によっては3回、4回の場合もある) を行い、密実で水密性の高い仕上面を形成する。

地下 接地壁・PIT・水槽 (標準仕様)

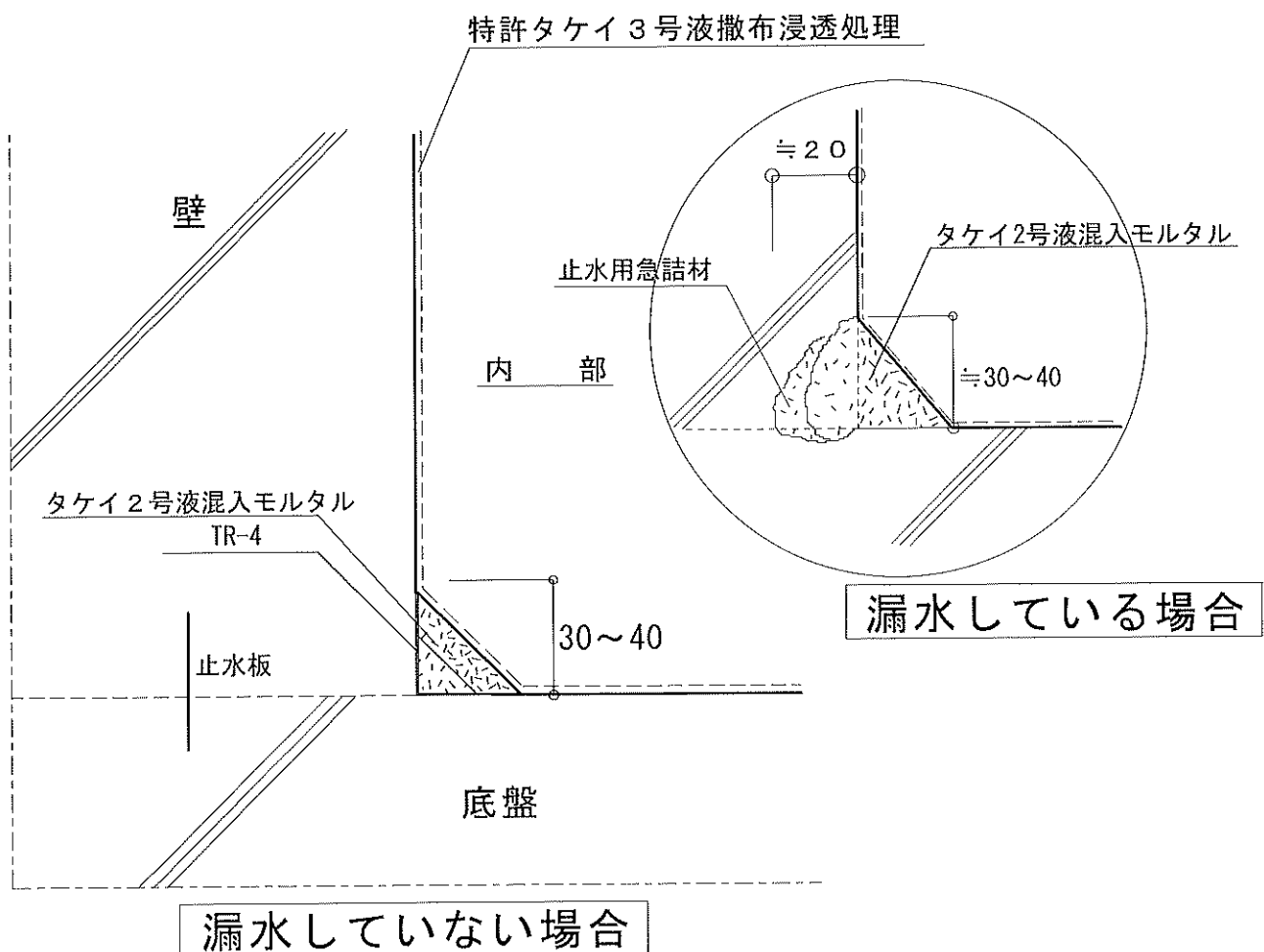
打継防水処理———施工手順

1. 漏水していない打継処理

- ・打継部分まわりの荒研りケレンを行いレイタンス及び不純物を除去する。
- ・研り箇所清掃の後、TR-4を刷毛にて塗布する
- ・TR-4が完全乾燥後、タケイ2号液混入モルタルを面状に付け送る。

2. 漏水している打継処理

- ・漏水箇所以外の打継処理を1.の順序に従い先行しタケイ2号液混入モルタルが完全硬化した後に漏水箇所の止水をし1.の順序に従い打継処理を行う
(目安：1週間)



地下 接地壁

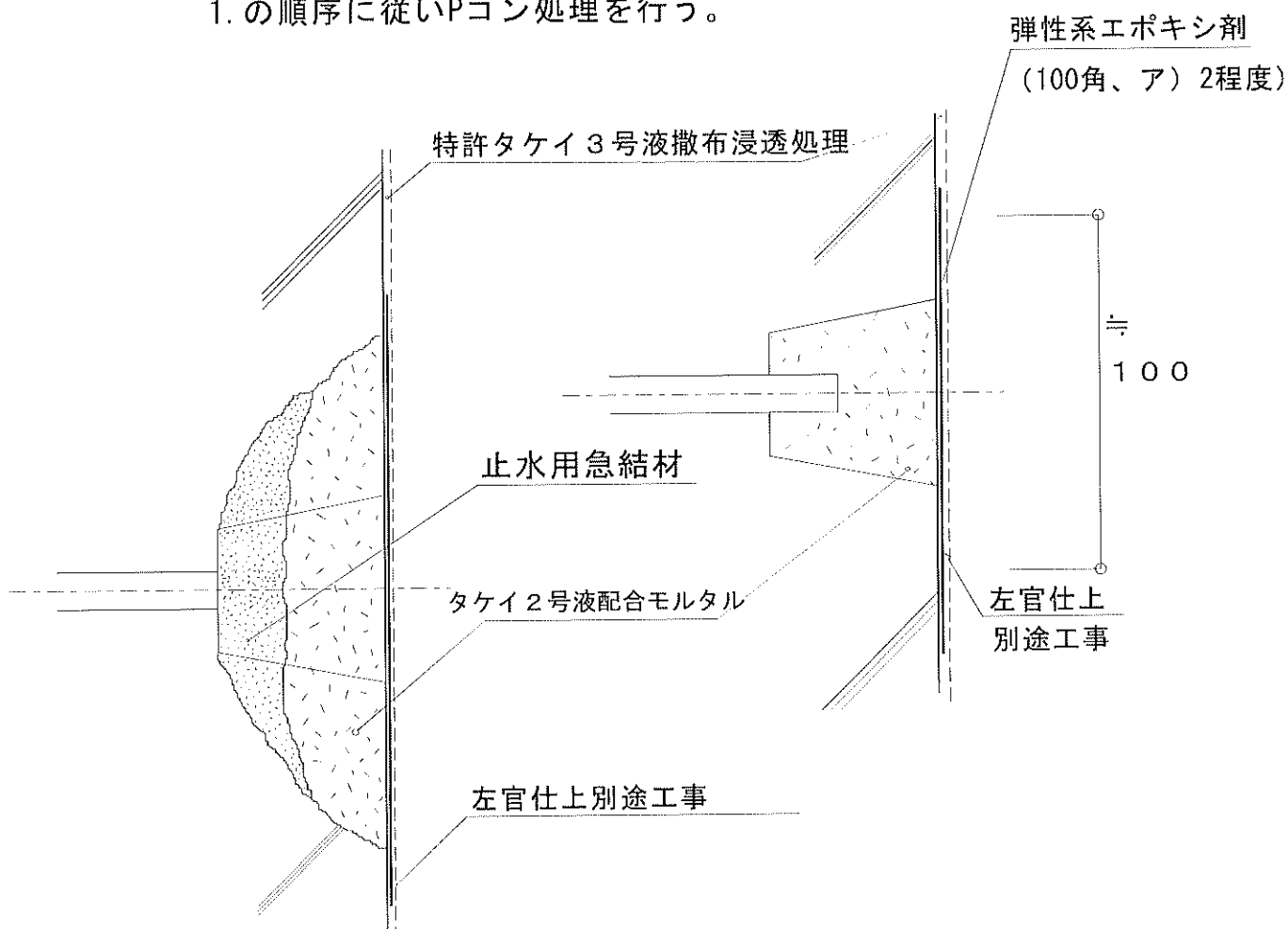
Pコン防水処理———施工手順

1. 漏水していないPコン処理

- ・タケイ2号液混入モルタルを押し込み付着させる
- ・翌日以降Pコンを中心として、約100×100×2mmに弾性系エポキシ剤を塗り込む。

2. 漏水している打継処理

- ・状態に応じてハツリ込みを深くし、止水処理を施し1.の順序に従いPコン処理を行う。



漏水している場合

漏水していない場合